

# 和歌山だよいい

平成25年 3月号



春の日置川（白浜町）

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P13
3. ふるさと歳時記…………… P14



紀の国わかやま国  
体へご協力お願い  
いたします

「 27,000km 」

知事就任以来、県庁政策審議課の諸君が「県政の軌跡」ということで、一年間の活動記録をまとめてくれています。（もし興味のおありの方がいらっしゃったら県庁 WEB サイトの「ようこそ知事室へ」をご覧ください。）それを見て、増えたなあと思いましたのが、仕事で車で走った距離が 27,000km だということです。このところ 23,000km～25,000km で毎年推移をしておりましたので、さらに多くあちこち行ったんだなあというわけです。27,000km というと、ハワイを 2 往復という距離だそうです。東京や九州といった所は飛行機を使いますが、県内はもちろん、近場の他県での用事も主として車でいきます。個人的には鉄道が好きなのですが、現地での移動の便と深夜などあまりにも遅い時間に移動することが多いことなどで、どうしても車の機動性に頼るようになるのです。

私は、県庁にすっこんでいるよりも、できるだけ県内外に広く出かけ、多くの方々とお話をしたり、実状をつぶさに見たりするのが好きです。そうして走っている最中に、このひどい道は早く直さないととか、ここに津波が来たらどう逃げてもらおうかととか、さまざまに思うことがあるのです。鳥獣害のひどさとか、シャッター通りの多さとか、車窓から見て胸を痛めることもあり、また、一面の桃の花とか斜面に実るみかんの美しさとかを見てうれしくなることもあります。また、「一度うちの地域を見に来てよ」とか、「お話をしに来てよ」とかのお願いをされ、そのお約束を果たすのも楽しいことです。

この道はあまり走っていないなという所や復旧の進捗が気になる箇所では、実状がよく分かるように随行秘書君と替わってもらって助手席に乗る事にしています。あまりにも移動が続くとさすがにくたびれますので、私になってから、運転手さんと随行秘書君は 2 人の交替制にしていますが、私自身は、交替ができませんのでがんばっています。ただ、各地で多くの人々の笑顔にお会いできることが、疲れを吹っ飛ばしてくれるのです。でもそれも 6 年間無事故でがんばってくれている 2 人の運転手さんのおかげです。



2/5 定例記者会見にて

## 今月の和歌山県政トピックス

\* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

## 平成25年度当初予算・新政策を発表！！

・平成25年度の新政策は、平成24年度と同様に、「安全」の政策、「安心」の政策、「挑戦」の政策の三本柱です。新年度も「元気な和歌山」の創造に向けて、暮らしを守るための政策や、本県の活力強化につながる政策を強力に推進します。

・また、昨年末に経済再生を政策の柱に掲げる新政権が誕生して以来、景気回復の兆しが見られるこの機会を逃さないように、国の補正予算を効果的に活用して、補正予算と当初予算を合わせて、全体で「13ヶ月予算」として、切れ目のない予算執行に努めることにより、当面の景気を下支えしながら、県経済を回復へと導いていきます。

### 「安全」の政策

南海トラフの巨大地震や風水害などの災害から県民を守るため、総合的に防災対策を推進

### 「安心」の政策

住み慣れた地域で安心して過ごせる生活環境を創るため、福祉・医療の充実や暮らしを守る政策を推進

### 「挑戦」の政策

和歌山の成長と発展に向け、中小企業や農林漁業者を支援するとともに、心豊かで広い視野を持った人材を育成

平成25年度当初予算

5,672億円

〔対前年度比1.3%減〕

13ヶ月予算（国経済対策2月補正含）6,057億円

〔対前年度比5.4%増〕

公共投資

平成25年度当初予算 1,144億円

〔対前年度比9.9%減〕

13ヶ月予算 1,488億円

〔対前年度比17.3%増〕

## 【大規模災害に備えた「安全」の政策】

### 南海トラフ巨大地震等への備え

<津波避難対策の推進>

新 津波から「逃げ切る！」支援対策プログラム策定

- ・「南海トラフの巨大地震」、「東海・東南海・南海3連動地震」の二つの津波浸水予測結果を基に、避難困難地域を洗い出し、津波から逃げ切るためのプログラムを策定

新 津波ハザードマップ作成支援

- ・平成24年度中に県が策定する南海トラフの巨大地震の浸水予測図を基に、ハザードマップを作成する沿岸19市町を支援

<災害予防・減災のための基盤づくり>

避難不可能地域における防災対策の検討

- ・高台移転や複合避難ビルの建設など災害に強いまちづくりのための制度設計を県庁内のプロジェクトチームで引き続き検討

### 台風や集中豪雨への備え

新 避難発令支援情報提供

- ・市町村が避難勧告等の発令の判断を早期かつ的確に行えるよう、(財)日本気象協会の降水予測情報を利用できるシステム環境を整備

新 総合的な洪水対策

- ・中小河川の浸水対策として、和田川など47河川の河川改修を実施するとともに、紀の川流域での国営総合農地防災事業を促進



## 地域防災力の強化

### 新 ラジオ通じるプラン

- ・災害時の情報伝達手段として有効なラジオについて、防災の視点から難聴取世帯の解消に向けた支援を実施（災害のおそれがある地域に限り、外部アンテナ購入費を補助）

### わかやま防災力パワーアップ

- ・大規模な災害から、県民の命を守るため、市町村が実施する「避難」「救助」「減災」に必要な防災対策を総合的に支援。（最優先である避難路等の整備のため、対策予算を拡充）

## 【県民の命とくらしを守る「安心」の政策】

### 質の高い医療の確保と健康づくりの推進

#### がん対策の総合的な推進

- ・がん検診の受診率向上をめざし、個別受診勧奨を支援する制度を創設するとともに、新宮市立医療センターへの放射線治療機器「リニアック」の整備などがん診療体制を充実

### 出会いから、出産、子育てまでを総合的に支援

#### 新 わかやま結婚支援

- ・県内各地で出会いの場を提供するとともに、市町村やNPOなどを「わかやま婚活応援隊」として新たに登録し、協力して活動に取り組むなど、全県的な結婚サポート体制づくりを推進

### 県民の生活を支える福祉の維持向上

#### 新 社会福祉法人と連携した自立支援プログラム

- ・就労が可能な生活保護受給者の自立を支援するため、社会福祉法人と連携し、ボランティア活動の場を提供

### 県民が安心して暮らせる生活環境の整備

#### 新 新エネルギー創出推進

- ・農業用木質バイオマスボイラーの導入促進を支援
- ・熊野灘から紀伊水道にかけてのメタンハイドレートの賦存状況調査を実施

#### 新 性暴力被害者支援

- ・県立医科大学に、性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）を設置し、医療支援、相談等を一元的に対応

#### 新 科学技術の活用による犯罪捜査力の強化

- ・防犯カメラ等の画像を鮮明化するシステムや、撮影された画像から特定の人物を抽出するシステムなどを導入し、捜査力を向上

## 【成長に向けた「挑戦」の政策】

### 地域経済を支える産業の強化

#### 新 サービス産業の県外市場開拓支援

- ・県内サービス事業者が新規出店など、県外進出を検討する際に実施する市場マーケティング調査の支援や県内金融機関と連携し、金融支援への橋渡しを実施

#### 新 わかやま塾

- ・海外への事業展開の加速化に伴い、グローバル化に対応する世界にはばたく「わかやま人」を育成するため、官界や経済界で活躍する専門家や起業家を講師とした経営者や後継者などを対象にした塾を開講

## 観光による地域活力の創出

### 新 わかやま観光リレーキャンペーン

- ・3年連続するビッグイベント（H25 伊勢神宮式年遷宮、H26 世界遺産登録10周年、H27 高野山開創1200年、紀の国わかやま国体・大会）を契機とした誘客キャンペーンを切れ目なく展開

### 新 和歌山トイレおもてなし大作戦

- ・和歌山を訪れる方に心地よく過ごしてもらえるように、「紀の国わかやま国体・大会」までの2年間で、洋式トイレ・温水洗浄便座等の設置、小便器の洗浄操作のセンサー化などを集中的に実施

## 農林水産業の振興

### 農林水産業競争力アップ技術開発

- ・県の試験研究機関の研究テーマを公募により決定し、生産者の所得向上や地域の活性化に向けた実用技術開発を加速

### 農作物鳥獣被害防止総合対策

- ・ニホンザルの管理捕獲を開始するなど、シカ、イノシシ、アライグマを含めた捕獲対策を強化するとともに、狩猟者の人材育成支援や防護対策も合わせた総合的な対策を推進

## 道路ネットワークの整備

### 高速道路ネットワーク整備

- ・近畿自動車道紀勢線（南紀田辺～すさみ間の国体開催までの供用に向けた事業促進等）、京奈和自動車道（国体開催までの全線供用に向けた事業促進）の整備

### 川筋ネットワーク道路の整備

- ・各生活圏の「背骨」にあたる県内主要河川沿いの道路を重点整備

## 自立を育む教育環境の充実

### 新 きのくに学力向上総合支援

- ・県統一の学習到達度調査をすべての小中学校で行うとともに、小学国語・算数と中学数学の教員を対象にした授業力向上のための研修を充実

### いじめ対策総合推進

- ・いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を図るため、スクールカウンセラー等の拡充や学校サポートチームによる支援を実施

## 魅力ある地域づくり

### 新 南紀熊野ジオパーク推進

- ・日本ジオパーク、世界ジオパークの認定に向けた調査・保全活動や普及啓発を実施

### 新 古墳時代の「紀の川の巨木」保存・展示

- ・昨年紀の川で発見された、古墳時代頃に生育していた巨木を紀伊風土記の丘で保存・展示（巨木の概要：クスノキで周囲12m、直径4m、推定樹齢350年）

## 「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」に向けた体制強化

### 競技力向上

- ・男女総合優勝を目指し、ターゲットエイジの強化や指導者の招聘など「和歌山選抜」の選手強化を一層加速

### 新 国体関連施設の整備

- ・田辺市三四六総合運動公園、セーリング施設、ライフル射撃場、ホッケー競技用グラウンドの整備を促進

「第7回わかやま産品商談会 in 大阪」開催！

・2月7日、「第7回わかやま産品商談会 in 大阪」を「大阪マーチャングイズ・マート」で開催しました。

・今回は「おいしい！健康わかやま」をテーマに、特色ある和歌山の食材・加工品が集結。新規24業者を含む76業者が出展し、百貨店・スーパーの商品仕入担当者や外食産業の関係者に自慢の商品をアピールしました。

・商談会の冒頭、仁坂知事は「今回は新規の出展が24社もあり、嬉しい限りです。和歌山の逸品がたくさん集まっていますので、バイヤーの方は鶺鴒の目鷹の目で商品を見て頂き、出展者の方は自社の商品をおおいにPRしてください。」とあいさつし、参加者を激励しました。

・また、和歌山出身の料理研究家貝谷郁子さんが和歌山の食材を活用したイタリアンのレシピを披露し、来場者に向け、その魅力と可能性を大いにPRしました。

・このほか、腎臓病の方でも食べられる低タンパク質のパンなど機能性に注目した商品や生産量日本一の山椒を使って、県内の生産者と食品メーカーが連携して生まれた新商品の展示コーナーなども場内に設けられ、注目を集めました。

・さらに、今回、県が取り組んできた商談力や交渉力のスキルアップ研修（FCP＝フード・コミュニケーション・プロジェクト）に参加した14業者も出展。研修の成果を活かして商談に臨んでいました。

・来場者数は過去最高の435名となり、天下の台所に、和歌山の食を売り込む絶好の機会となりました。



スーパーマーケットトレードショー2013に出展！

・2月13日～15日、東京ビッグサイトで開催された「スーパーマーケットトレードショー2013」に、和歌山県のブースを出展しました。

・「スーパーマーケットトレードショー」は食品スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する国内最大級のプロ向けの商談展示会で、和歌山県ブースには、今年も梅干し、みかんやじゃばらの加工品などの12業者が出展しました。

・新商品探しや最新の市場動向の把握にと、会場を訪れた人は3日間で8万5千人近くにのぼり、和歌山県ブースにも、スーパーや卸会社などのバイヤーが大勢訪れ、各社の担当者が熱心に商談しました。



《出展企業》 順不同

(株)紀和農園プロダクツ(梅干し加工品、あんぼ柿)・(株)世界一統(県産果実使用リキュール)・田端酒造(株)(清酒、梅酒)・(株)小南農園(みかん加工品)・井上梅干食品(株)(梅干し)・河本食品(株)(梅干し、梅酒)・関本宗一商店(梅干し、うめぶたカレー)・みなべいなみ農業協同組合(梅加工品)・(株)ウメカ食品(梅加工品)・(有)熊野鼓動(じゃばら加工品)・(株)濱田(梅加工品、梅酒)・(株)松本のれん堂(蒲鉾、梅加工品)

第4回プレミアム和歌山推奨品が決定！！

・2月25日、安心・安全を基本に「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」の県産品を認定・推奨する和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）の第5回推奨品が決定しました。

・仁坂知事が51品目の推奨品を発表したあと、プレミアム和歌山推奨品審査委員会一柳委員長から、本年度の推奨品の中から特に優れた製品に対する「審査委員特別賞」が発表されました。



（審査委員特別賞）

イブの恵みモモハム（株）いこいの村わかやま

すさみ町の特産品であるF1イノブタ（一代交雑種）にこだわり、自社で飼育生産したイノブタ肉「イブの恵み」を使用。エサの配合による品質管理、飼育法による衛生管理にこだわった「イブの恵み」の肉質はあっさり感で臭みが無く、保水性が良く肉汁の漏出が少ない。特に脂身は甘くコクがあり、口に入れるととろけるような食感がある。

この「モモハム」は、イブの恵みに適したオリジナルのスパイスでじっくりと長期熟成させ、しっかりした歯ごたえと、とろける旨味が堪能できる製品。

いこいの村わかやまホームページ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/evefarm/>

第5回プレミアム和歌山推奨品一覧

事業者名	推奨認定品の名称	事業者名	推奨認定品の名称
松川農園	光梅	株式会社いこいの村わかやま	イブの恵み 焼き猪豚
坂忠商店	昔ながらのすっぱい梅干		イブの恵み ケーゼ
	こだわり熟うま南高梅（うす塩味）		イブの恵み ベーコン
	こだわり熟うま南高梅（はちみつ梅）		イブの恵み ピアシンケン
株式会社 不動農園	紀州南高梅 不動の梅		イブの恵み チョリソサラミ
湯浅醤油有限会社	ゆずぼん酢	熊野の里株式会社	熊野のめはり高菜
農事組合法人古座川 ゆず平井の里	ゆずの里ぼん酢	北山村	じゃばら10%ドリンク
	柚香ちゃん		じゃばらジャム
	はちみつ柚香ちゃん		北山村じゃばら果汁
	柚子たれ	魚義商店	紀州ゆあさ魚義 湯浅醤油のサンマの味醂干し
	柚子シャーベット		紀州ゆあさ魚義 梅塩の干物 青(丸)アジの開き
株式会社いこいの村わかやま	イブの恵み あらびきウインナー	株式会社財文水産	釜揚げしらす
	イブの恵み チョリソウインナー	日高川漁業協同組合	あゆ一夜干
	イブの恵み ホワイトウインナー		あまご一夜干
	イブの恵み フランクフルト	谷国水産	地曳網漁釜揚げしらす
	イブの恵み ロースハム	西尾栄治(宝来寿司)	湯通し塩蔵ひろめ
	イブの恵み モモハム	おざきのひもの	たちうおみりん



事業者名	推奨認定品の名称	事業者名	推奨認定品の名称
中野BC株式会社	山椒のうめ酒	株式会社大覚総本舗	黒丸ごま豆腐
	紀南高		白丸ごま豆腐
	梅の初恋		
株式会社吉村秀雄商店	紀州完熟南高梅・黒糖	有限会社美宝	有機 竹茶
	幻のじゃばら酒・すつきりタイプ	株式会社岩本食品	三日月梅
中勝酒造株式会社	完熟南高うめさけ	ふたばの梅干	紀州南高梅 塩分0%やさしい梅
湯浅醤油有限会社	生一本黒豆醤油	横山食品株式会社	青梅シロップ サン紀っす
丸新本家	湯浅なす金山寺味噌		おひさまサン紀っす
公立学校共済組合和歌山宿泊所 ホテルアパーム紀の国	紀州靱漉 黒豆パウンドケーキ	株式会社岡畑農園	紀州梅の酢
	紀州茶粥シャーベット	熊野黒潮本舗	炭塩
株式会社ふみこ農園	梅グラッセ	紀州御殿てまり 青木	紀州御殿てまり
有限会社レストラン雲水	雲水 つりがねまんじゅう	オーヤパイル株式会社	再織ハンカチ
株式会社 福菱	かげろう	古田真敏	冷蔵富有柿
	柚もなか	四季彩園	四季彩園 くしもとポンカン
有限会社福梅本舗	ウメ・モッチーノ	和歌山湯浅なす推進研究会 生産者部会	紀州伝統野菜 湯浅なす
	フキュメ・ドーラ	和歌山県鮎養殖漁業協同組合	紀州仕立て鮎
	フキュメ・レジェール	北山村観光協会	北山川観光筏下り
株式会社那智山蓬莱閣	那智山黒飴(箱)	和歌山加太丸	和歌山加太丸 一夜干しタイ

プレミアム和歌山ホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/premierwakayama/>

国際ビジネスセミナーを開催！！

・近年、アジア地域は、日本企業にとって、製造拠点という位置づけのみならず、新たな市場としての重要性も増してきています。

・このような状況に着目し、和歌山県では日本貿易振興機構（ジェトロ）、わかやま産業振興財団と協同で、2月15日に和歌山市において「国際ビジネスセミナー」を開催したところ、140名を超える方々に参加をいただきました。

・ジェトロの石毛博行理事長を講師に迎えて、「アジア・新興市場開拓とジェトロの役割」と題した講演が行われました。

・石毛理事長は、反日デモ以降、中国での事業縮小や撤退を考える企業が増えている一方で、ベトナムやミャンマーなどに投資の目が向けられているアジアの現状に言及。これらの新興市場を開拓していくには、リスクを伴うことにも触れ、その上で、ジェトロが進出企業に対して、各種のサポートを行っていることを紹介。「ぜひ、ジェトロを活用して海外市場への展開を図ってほしい」と結びました。





### 平成25年度振興局政策コンペ事業（8事業）を選定！！

・「振興局政策コンペ事業」は、県の出先機関である7つの振興局の若手職員が、地域の課題に対する解決施策や地域の資源を使った活性化施策を企画立案した事業です。（は、具体的な事業です）

・今回決定した事業は、新年度から進められるもので、成果があがったものについては、各地域の特色ある事業として定着化が図られます。

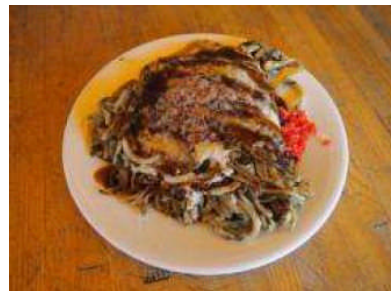
#### ～もっと知りたい！マニアック和歌山～ 地域のグルメ&穴場スポット発掘・発信事業 ～（全振興局）

・県下全域で、地域住民しか知らない、地域のグルメ、スイーツ（隠れた名店）や、穴場スポットの情報を募集する。集まった情報はHPとして発信し、地域別にガイドブックを作成する。観光客の周遊範囲拡大と消費活動増加による地域経済の活性化を図る。

全県職員による（事前）投稿

県民、旅行者による投稿

投稿情報のHPによる公開とPR、ガイドブックの作成



#### 「ウマイ！」がいっぱい～“漁師めし”自慢～（海草振興局）

・漁師ならではの食べ方＝“漁師めし”を発信することで、地域水産物の消費拡大を図る。  
旬の水産物を使った漁師めし“試食”イベントを年2回（春・秋）開催  
漁師めしを提供する飲食店を募集し「漁師めし応援店」として登録  
漁師めしレシピの発信

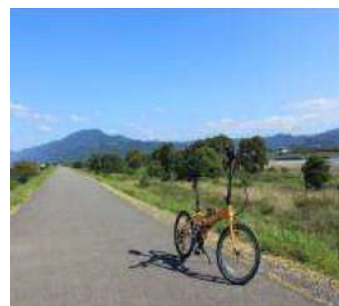
#### 紀の川周遊サイクリング（那賀振興局）

・サイクリングロードのブランド化とイベントによるPRおよび観光サイクリングを推進するうえで必要な環境の整備

サイクリングイベント開催等による自転車道の知名度向上

ルートマップの作成、環境整備

有名スポーツライターとタイアップしたPRの実施



#### 家に帰ろう～終末期を安心して過ごすために～（那賀振興局）

・患者及び家族に退院支援から終末期までの具体的な支援方法を周知するとともに、在宅から終末に至る医療連携体制を整備する。

「あんしんノート」を配布し退院支援から自宅療養、終末期までの具体的な支援方法を周知  
キーパーソン医師（緊急往診医師の調整や他職種との連携体制の提示、家族への適切な指示ができる）を育成

医者以外で在宅医療に携わる職種について連携・協同できる人材を育成

#### 高野山・伊都の食文化を堪能できるおもてなし弁当（伊都振興局）

・「おもてなし」のコンセプトに沿って事業者が作成した弁当を運営委員会が選抜し、地域内外でのプロモーション活動を行う。

・地域の業者の競争力の向上と販売網の拡大による収益アップを図る

堺、泉北地域で開催されるイベントで実食コンテストを実施しPR  
旅行会社、パックスツアー、団体客等への売り込み



**「高野山麓コゴミ」おいしさ発信!プロジェクト(伊都振興局)**

- ・かつらぎ町志賀地区で生産されるコゴミを「わかやま高野山麓コゴミ」として発信し、小規模農家の収益向上による山村地域の活性化を図る。
- 販売パック用「わかやま高野山麓コゴミ」シール作成
- 和歌山市内の青果卸、レストラン、首都圏レストランでのPR活動

**有田を歩こう、美味しく歩こう~駅利用ウォーキングPR作戦~(有田振興局)**

- ・有田地域の魅力的な観光スポットや名店をむすぶ、新たなウォーキングコースを設定し、イベントを行って広報することで、JRを利用する観光交流人口の増加と駅前の活性化を図る。
- 新たな4コースをPRするウォーキング大会を年4回開催
- 大阪市内のJR主要駅、JR西日本のHPおよび管内市町村HPでPR

**“ナース”のお仕事PR大作戦(日高振興局)**

- ・管内の高校生に看護職の魅力を知り・啓蒙を行うとともに、県内外に日高地域の魅力を発信し、他地域に通う地元出身の看護学生が卒業後に地域の病院へ就職するように促し、日高地域の看護師の充当率アップを目指す。
- 地域の魅力PRガイド(パンフレット、DVD)の作成と配布
- 七夕交流イベント(高校生対象に看護職の魅力をPR)を開催
- 看護師へのありがとうメッセージ・コンテストの実施



**「紀州勝浦まぐろ缶詰」が農林水産大臣賞を県内初受賞**

- ・勝浦漁業協同組合が製造する紀州勝浦マグロ缶詰が、平成24年度優良ふるさと食品中央コンクールにおいて、国産畜水産品利用部門で農林水産大臣賞を受賞しました。
- ・このコンクールは財団法人食品産業センターが昭和63年から実施しており、新技術開発部門、新製品開発部門、国産農林産品利用部門・国産畜水産品利用部門の4部門ごとに農林水産大臣賞1点、農林水産省食料産業局長3点以内、(財)食品産業センター会長賞5点程度が表彰されます。
- ・受賞した製品は経済学用語のマクロ経済学にかけた「紀州勝浦まぐろCAN マグロ経済学シリーズ」という商品名です。紀州勝浦産の生マグロと紀州の海で育った養殖クロマグロの内臓(ガツ(胃袋)やヘソ(心臓)といった大変珍しい部位)を使った8種類の缶詰のシリーズで、塩、醤油、酒、みりん、酢、はちみつ、の調味料も、県内メーカーの厳選素材にこだわって作られています。食味や包装、商品特性等が特に優れているだけでなく、原料調達等で地域発展・活性化に功績があると認められ、今回の受賞となりました。
- ・現在、この缶詰は勝浦漁協での直売のほか、地元の「道の駅」やホテルなどで販売されていますが、今後、首都圏方面等への販路開拓に取り組んでいきます。
- ・詳しくは勝浦漁業協同組合ホームページをご覧ください。<http://www4.ocn.ne.jp/~wkkatu/index.htm>





### 「紀州へら竿」が伝統的工艺品に新規指定

・2月7日、経済産業省の産業構造審議会伝統的工艺品分科会指定小委員会が開催され、橋本市の特産品である「紀州へら竿」の新規指定について、審議が行われ、今年度内に経済産業大臣の指定がなされる運びとなりました。

・伝統的工艺品は「伝統的工艺品産業の振興に関する法律」に基づき、日用品であること、手工業的であること、伝統的な（100年以上）技術・技法であること、伝統的に使用された原材料であること、一定の地域で産地形成がなされていることの5つの要件を満たすことが求められています。

・紀州へら竿は、橋本市で天然の竹を使用し、竿師の高い技術力で作られるへら鮎釣り用の竿であり、へら竿の大半がこの地で生産されています。昭和初期からのへら鮎釣りブームもあり、へら竿づくりが定着し、昭和63年には和歌山県の伝統工艺品第1号に指定されました。

・指定された場合、和歌山県では紀州漆器、紀州箆笥とあわせて3品目、全国では215品となります。



### 東海和歌山県人会総会懇親会開催！！

・2月14日、「東海和歌山県人会総会・懇親会」が、名古屋国際ホテルにおいて盛大に開催されました。

・開会にあたり、山口会長は同会が来年、創立110周年を迎えることに触れ、「1年をかけてお祝いの準備を進めたい。」と挨拶しました。

・続いて下副知事が「今年から3年間は観光のゴールデンイヤー。一層の振興に取り組むので、皆様もご支援いただきたい」と挨拶しました。

・懇親会では、鏡開きに引き続き、鮎が解体されて参加者に振る舞われたほか、落語家の桂文福さんも駆けつけ、会場を大いに盛り上げました。



### 「わかぱんポッキー」が完成しました！！

・和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぱん」と江崎グリコ株式会社が発売している「ポッキー<パンダ>」がタイアップし、「わかぱんポッキー」が完成しました。

・「わかぱんポッキー」は観光プロモーション等に使用するノベルティとして制作されたもので中身は既存の「ポッキー<パンダ>」のままで、パッケージの表面にポッキーパンダよりかわいい「わかぱん」のイラストを全面的に使用し、裏面にはアドベンチャーワールドや白浜温泉を紹介しています。

・また、2月9日～11日、この「わかぱんポッキー」を活用した、タイアップイベントがキリックスグループ・ネットヨタ東名古屋株式会社の協力により、名古屋市内で開催されました。同社の販売店全店舗において、和歌山の観光ポスターを店頭に飾り、パンフレットも設置。来場者に和歌山旅行や特産品、「わかぱんポッキー」などがあたる抽選会も実施され、好評を得ました。

・さらに、白浜温泉旅館協同組合の加盟施設では、パンダファミリーの名前（永明、良浜、陽浜、海浜、永浜、梅浜、優浜）と同じ漢字が入った宿泊客に「わかぱんポッキー」をプレゼントする特別宿泊プランを4月7日まで実施中。詳しくは同組合のホームページ（<http://www.shirahama-ryokan.jp/index.html>）をご覧ください。





**陸奥宗光シンポジウムが開催されました。**

- ・2月16日、和歌山市のアパローム紀の国において、「陸奥宗光シンポジウム」が開催されました。
- ・このシンポジウムは、昨年12月の東京での開催が大変好評であったことを受けて、地元和歌山でも開催を望む声があり、実施に致ったものです。
- ・東京に引き続き、今回も、陸奥研究の第一人者でNPO 法人岡崎研究所の岡崎久彦理事長による基調講演が行われました。岡崎理事長は、陸奥が紀州藩の改革に着手し、日本初の洋式軍隊を設立したことから、広く知られている不平等条約の改正にいたるまで、幕末から明治へと時代の大きな転換期の中で、陸奥が果たした足跡を振り返り、常に国家的な視点のスケールで、物事を考えていた陸奥の偉大さを、熱く語りました。
- ・続く、シンポジウムでは、岡崎理事長のほか、仁坂知事や和歌山県立博物館の竹中康彦学芸課長がパネリストとして加わりました。竹中課長は、軍隊の制服に必要な綿ネルや洋靴の製造が和歌山で始まり、地場産業として地位を築いていった歴史を紹介。仁坂知事は、外務省にある唯一の銅像が陸奥の像であることを紹介し、陸奥の功績を理解し、和歌山県人として誇りを持ってほしいと話しました。
- ・和歌山会場も東京と同様、満員の聴衆で埋め尽くされ、郷土の偉人に思いを馳せながら、歴史を見つめ直すひとときとなりました。



**南紀熊野ジオパーク推進協議会 設立総会・第1回総会を開催**

- ・2月6日、串本町の県水産試験場において、南紀熊野ジオパーク推進協議会の設立総会及び第1回総会が開催されました。
- ・この協議会は、貴重な地質や地形を有する紀南地域のジオパーク認定を目指して設立されたもので、県、市町村、教育委員会、地域の商工関係団体、観光関係団体、和歌山の地質研究者等が出席しました。
- ・冒頭、仁坂知事は「世界遺産、ラムサール条約に続いて世界ジオパークに認定されると3冠王になる。県内の素晴らしい地質をアピールして認定に向けて盛り上げていきたい」と挨拶しました。
- ・協議会では今後、ジオサイト（ジオパーク内の地質や地形等の見どころとなる場所）の選定やジオパークの普及啓発を進めながら、基本計画、実行計画、保全計画などの作成を行い、平成26年度に日本ジオパークの認定を目指します。さらに、その後、世界ジオパークの認定を目標に取り組む予定です。



**ジオパークとは？**

地質や地形を見どころとする大地の公園です。貴重で美しい地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、ジオツーリズムを通じて地球科学の普及や環境教育などを行い、さらにこれらの遺産を観光資源として活用して地域社会の活性化を目指しています。すでに、日本国内では、5地域の世界ジオパーク、20地域の日本ジオパークが認定され、各地で創意工夫を凝らしたまちづくりが進められています。

今回認定を目指す紀南地域は、地球表面を覆う“プレート”が沈み込む場所で起きる地質現象のすべてを体感できるエリアであり、日本の地質構造100選の一つであるすさみ町口和深の大褶曲（だいしゅうきょく）など、貴重な地形地質を見ることが出来ます。

「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」 オフィシャルサプライヤーに  
感謝状を贈呈

・ 2月28日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の企業協賛制度におけるオフィシャルサプライヤーとして決定した和歌山ダイハツ販売株式会社、日産プリンス和歌山販売株式会社、株式会社和歌山マツダ、和歌山日産自動車株式会社、株式会社スズキモーター和歌山、株式会社スーパーホンダ和歌山への、感謝状贈呈式が知事室において行われました。

・ オフィシャルサプライヤーは100万円相当以上の物品等を提供や貸与していただく企業で、各社からは自動車が貸与されます。

・ 贈呈式には、和歌山ダイハツ販売株式会社 宮本裕史代表取締役社長、日産プリンス和歌山販売株式会社 辻本英作取締役社長 株式会社和歌山マツダ 藤本均代表取締役社長、和歌山日産自動車株式会社 菊池毅彦取締役社長 株式会社スズキモーター和歌山 木村晴美代表取締役 株式会社スーパーホンダ和歌山 小河原将宏代表取締役が出席。各社からそれぞれ仁坂知事へ目録が手渡されました。

・ 知事からは感謝状、マスコット「きいちゃん」のぬいぐるみ及び国体・大会イメージソング「明日へと」のCDをお渡ししました。

・ 貸与いただきました自動車は両大会の開催準備・運営に活用させていただきます



和歌山ダイハツ販売(株)



日産プリンス和歌山販売(株)



(株)和歌山マツダ



和歌山日産(株)



(株)スズキモーター和歌山



(株)スーパーホンダ和歌山



## 和歌山県スポーツ賞表彰式が開催されました！！

- ・2月19日、和歌山県スポーツ賞の表彰式が開催されました。スポーツ賞はスポーツ水準の向上や振興に貢献したり、功績を残した選手や団体に与えられるもので、今回で51回目となります。
- ・スポーツ功労賞、スポーツ優秀指導者賞、スポーツ顕賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の5つの賞に個人115名と26団体が選ばれました。
- ・仁坂知事は、「ロンドンオリンピック・パラリンピックで和歌山の選手が大活躍し、ぎふ清流国体でも本県選手団が大躍進し、昨年は県スポーツ界にとって輝かしい年となった。」と受賞者の功績を讃えました。
- ・受賞者を代表してスポーツ功労賞の上山章善湯浅町長（和歌山県軟式連盟副会長）が、「紀の国わかやま国体の成功に向けて、それぞれの競技で努力していきたい」と謝辞を述べました。



主な受賞者（敬称略、順不同）

【スポーツ功労賞】スポーツの振興に著しい功績を挙げた方

上山 章善（軟式野球）永年にわたり県連盟の役員を務めるなど軟式野球の振興に貢献

【スポーツ優秀指導者賞】優秀なスポーツ選手の育成に尽力した方

兼田 守（相撲）監督として実業団相撲部を優勝に導くなど社会人スポーツの振興に貢献

【スポーツ顕賞】国際的な大会で優秀な成績を挙げた方々

<団体>

日吉染業ヨット部

<個人>

白草 竜太（ウエイトリフティング）、山本 耕平（水泳）、坂爪 亮介（スケート）

尾川 潤（セーリング）、窪木 一茂、稲毛 健太（以上 自転車）

（以下は、ロンドンオリンピック、パラリンピック出場選手）

古川 高晴（アーチェリー）、田中 和仁、田中 理恵、田中 佑典（以上 体操）

湯元 健一、湯元 進一（レスリング）、阪本 直也（カヌー）、萩原 麻由子（自転車）

嶋本 麻美（ウエイトリフティング）、西岡 詩穂（フェンシング）、九鬼 巧（陸上）

中村 智太郎（水泳）

この他、スポーツ賞に55名、19団体、スポーツ奨励賞に40名、6団体の方々が選ばれました。

## 海南市民医療センターが完成

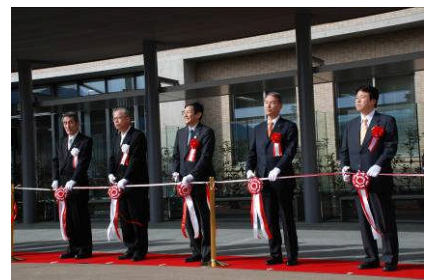
・2月17日、海南市が建設を進めていた「海南医療センター」の竣工式が行われました。

・「海南医療センター」は海南市民病院の老朽化に伴い、新たな地域の拠点病院として、海南市が整備したものです。

・新病院は免震構造の鉄筋コンクリート5階建て、述べ床面積1万573平方メートルで、150床の病床を完備。内視鏡センターが新設されたほか、最新鋭の磁気共鳴画像装置（MRI）やコンピュータ断層撮影装置（CT）などの高度な医療機器も備えられています。

・さらに、屋上に自家発電機などが置かれ、災害時には近隣住民の一時避難場所としても活用できるようになっています。

・海南市の神出政巳市長は「高度な医療サービスが提供できると確信している。地域医療の核としての役割を果たしていく」と式辞を述べ、仁坂知事も「新病院は、津波対策や耐震もしっかりできており、市民の医療のよりどころとなる」と述べ、新病院の完成を祝いました。新病院は3月1日に開院し、4日から外来診療が行われています。





## ～ 紀の川市 ～

### 長田観音の初午

・延喜21年(921)、念仏上人により開創された寺。紀の川市別所にあり、真言宗に属し、正式名称を如意山厄除観音寺(によいざんやくよけかんのんじ)と言います。しかし、一般には旧長田庄に位置したことから、「長田観音」の通称で親しまれています。

・本尊は如意輪観世音菩薩(によいりんかんのんぼさつ)で靈験高く「厄除観音」と呼ばれており、毎年、初午(旧暦2月最初の午の日)には、厄除参りに県外からも多くの参拝者が訪れます。

・今年の初午は、3月17日。多くの露店も建ち並び、境内は終日賑わいを見せます。



### いちごと桃

・紀の川市は和歌山県の中でも果物の栽培が盛んな地。年間を通して、様々な果物が手に入りますが、これからの季節は、何と言っても「いちご」です。

・旧貴志川町は和歌山県内屈指のいちごの産地。たま駅長で有名な和歌山電鉄貴志川線にはいちご電車が走り、終点貴志駅の「たまカフェ」ではいちごを使ったスイーツを楽しむことができますなど、いちごは地域のシンボリックな存在でもあります。

・観光いちご狩り園もあり、今年も2月1日にオープン。5月ぐらゐまで、いちご狩りを楽しむことができます。



・紀の川市の春を飾るもう一つが「桃」の花です。旧桃山町は桃の産地として名高い地域ですが、春本番とともに、町はピンクの桃の花一色に染まり、その風景は桃源郷と称されています。4月6日には桃山まつり、翌日には桃源郷ハーフマラソンも行われ、多くの人で賑わいます。

・また、今年も、桃の花が関西国際空港まで出張。国内初のLCCピーチアビエーションの就航1周年を記念して、第2ターミナルの出発ロビーなどが紀の川市産の約1500本の桃の花で飾られます。



紀の川市観光協会ホームページ <http://www.kanko-kinokawa.jp/>

### めっけもん広場

・旬のいちごをはじめ、紀の川市の農産物が一堂に揃うのが、JA紀の里の「めっけもん広場」です。管内で生産される、果物、野菜、花きをはじめ、漬物、味噌、パンなどの加工品も揃うほか、イートインコーナーもあります。

・オープンは平成12年。年間80万人が訪れ、売上高は26億を誇る全国トップクラスの農産物直売所で、一昨年、秋篠宮同妃両殿下がご来県された際にも、ご視察のため訪問されました。

・休日ともなると、県外からも買い物客が訪れ、店内は賑わいます。

めっけもん広場ホームページ [http://www.ja-kinosato.or.jp/01\\_mekkeemon/](http://www.ja-kinosato.or.jp/01_mekkeemon/)

～編集後記～

3月の足音とともに、ようやく日射しも春めいてきました。

県庁では、新年度の予算を審議する2月議会の真っ最中です。

県政トピックスの冒頭でご紹介しましたように、新年度の予算も「安全」「安心」「挑戦」を政策の柱に据えた内容となっています。

「安全に安心して暮らせる社会」というのは老若男女万人の共通した願いではありますが、一方で、社会を発展させていくためには、「挑戦の姿勢」も忘れてはなりません。特に、本県では、2年後に「紀の国わかやま国体」というビッグイベントが控えており、この機会を捉えて、和歌山をもっと元気にするために、県庁職員が一丸となり、果敢に臨んでいきたいと思えます。

さて、少し気が早いですが、3月中旬に議会が終われば、人事異動の内示など、年度替わりを控えた県庁は一気に慌ただしくなります。

私も「和歌山だより」の編集長に就任して、まもなく1年となりますが、年を追う毎に、時の流れが速くなっていくようで、振り返って見るとあっという間の1年でありました。

県人会などにも出席させていただき、たくさんの方にお会いし、色々なご意見を伺うことができました。改めて、和歌山を離れても、ふるさとのことを思い続けておられる皆様がいることを知り、大変心強く思うと同時に、その声に応えていかねばと身が引き締まる思いがした1年でもありました。

春本番に向かうこの時期は、三寒四温という言葉が表すように、日々の気温の変動も大きくなります。皆様、くれぐれもご自愛ください。

今年度も「和歌山だより」をご愛読いただき、ありがとうございました。来月で6年目に突入です。引き続きよろしく願いいたします。

知事室秘書課長 森田 康友

「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

FAX 073-422-4032

E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2013年(平成25年)3月 NO.59

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022